生活・福祉・教育の大改悪を許すな！

札幌 共同連絡センター通信

http://www.sapporo-syahokyo.jp/syaho_kyodo.htm

2008年5月20日
第23号
事務局：札幌社保協内
電話：823－0867
FAX：821－3701
E-mail：
s-syaho@kin-ikyo.or.jp

「家庭ごみ有料化」をせずにゴミの減量を！

新婦人札幌協議会が請願と2,360の署名提出

新婦人札幌各支部の代表が、紹介議員になってくれた岩村市議（共産党）に請願の要請

上田札幌市長は０９年7月からの家庭ごみの有料化を主張し、5/22からの市議会に関連条例改正案を提案する予定です。しかし、一方で市民の負担増になる、「資源ごみ」はリサイクルなのに有料化はおかしいという声も強かったため、急きょ資源ごみは無料にすると方針転換をしました。

このような中、新婦人札幌協議会の各支部の代表ら９人が、「家庭ごみの有料化は行わず、ごみの減量を推進することを求める」請願を市議会に提出しました。同時に各会派要請も行い、共産党市議団が紹介議員となってくれました。

５/２２に署名再提出、５/２６に大通で大宣伝行動

同協議会は２２日の15:30に署名3,000筆以上の再提出をめざしています。また２６日(月)12:30～13:15大通西4丁目でリレートークなどの宣伝行動も計画しています。

生活と健康を守る会・札幌各単組も陳情提出

生活と健康を守る会札幌各区の単組も１９日、「家庭ゴミ有料化に係る陳情書」を市議会に提出しました。陳情の趣旨「札幌市は、ゴミ削減の総合プラン『スリムシティさっぽろ計画』を策定し、その重要な柱として家庭ゴミの有料化を打ち出しました。ゴミの減量は、札幌市民全体の強い関心事であり、願いでもあります。しかし、家庭ゴミ有料化ではゴミの減量に繋がらないばかりか、現在行っている市民によるゴミ減量努力を台無しにしかねない最悪の手法です。有料化の計画を中止し、名古屋市などのように、行政・事業者・市民が一体となって、共同でゴミの減量をめざすことを求めます」

障害者への交通費助成　福祉パスはなくなり、タクシー券・ガソリン券は２４,０００円に減額
これではとても病院や作業所に通えません！

札幌市は来年に向けて、障がい者交通費助成の「見直し」を計画しており、今まで制限なく利用できた福祉乗車証・定期券に上限を設け、タクシー券・ガソリン券も大幅に削減しようとしています。障がい者の間から不安と、社会参加が閉ざされると怒りの声が上がっています。

市主催意見交換会
①５月２１日(水)18:30～20:30　社会福祉総合センター
②５月２５日(日)10:00～12:00　〃

交通費見直し「当事者の集まり」
６月１５日(日)13:30～15:30　身体障害者福祉センター

言葉の魔術で欺く、消費税増税、福祉目的税化のいつわり

★納税者の権利・救済の実務・実践講座

6•1税金学習会

日程：６月１日(日)
13:30～16:30
場所：しんきん健保会館
講師：**浦野広明　立正大学教授（税理士）**
資料代：500円
主催：札幌中部・西・北部・東部民主商工会